

平成22年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機 関 名	宇都宮大学
団 体 等 名	バスーラ 「BASURA」上映実行委員会
学生代表者氏名 (所属・学年)	高橋里詠子 (宇都宮大学 国際学部国際文化学科 4年)
責任教職員氏名	阪本公美子 (宇都宮大学)

1. 事業名	ドキュメンタリー映画「BASURA」上映会
2. 実施時期	2011年1月23日 (日)
3. 実施場所	宇都宮大学 峰が丘講堂
4. 事業の内容等	<p>フィリピンのごみ山 (スモーカーマウンテン) で暮らす人々の支援を行っている四ノ宮浩監督のドキュメンタリーを上映。これは、換金できるごみを拾って生活する家族に20年以上密着した作品である。</p> <p>同じアジアの中でも、いまだに死と隣り合わせで生活する人々や、彼らのために人生をかけて支援を続ける日本の監督の存在を通して、学生の今しかできないことをやる原動力に繋げる。</p> <p>さらに、監督の講演を行い、映画での苦労や裏話を聞くことができ、疑問点や問題点がある場合はその場で監督に質問をする。海外での支援活動やそれを行う映画監督を身近に感じることができる。</p> <p>また、ミニワークショップを通して、何が問題なのか、何が必要なのか考えた上で自分にできることを模索する。他の学生などと意見を交わすことで、新しい発見や、自分が与えたいものと相手が求めていることの違いや気づきを感じることができる。</p>
5. 事業の成果と今後の課題	<p>映画や監督の話から、自分は何をすべきか・その中で何ができるのかという次につながる具体的な考えを持つことができた。この考えは内向きの学生が増えていると言われている中、新しい行動へのきっかけとなった。</p> <p>また、他大学や地域の方と意見を交換することで、普段接しない意見や広い視野を持つことができる。</p> <p>今後、参加者に対してさらに具体的な行動のアドバイスを与え、参加していない学生に対しても、刺激を与える機会を増やしていく。</p>

(注) 1. 記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

2. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。

報告書 (添付書類を含む) はA4判5枚以内にまとめてください。

3. この報告書は、各関係機関等に公表するとともに、大学コンソーシアムとちぎのホームページへの掲載を考えております。また、次年度以降の学生活動支援事業に役立てていきたいと思っております。